

の色だけではなく、秋になって黄金色に傾いた日光の助けも大きいのではないかと思う。今年の紅葉はぜひ光にも注目してみたいものだ。



老松白鳳図

出典:フリー百科辞典『ウィキペディア』

#### 編集後記

『Goken News』No.22の編集後記を書くに当たり、先ず悲しいお知らせをしなければなりません。本年11月9日に現代中国学部 of 英語担当教員であった佐野俊彦先生が急逝されました。佐野先生は愛知大学の教養学部にて赴任された後、愛知大学の学部再編で現代中国学部に移籍され、新学部の発展のために大いに貢献をされました。大学運営の面と英語科目の担当の面で貴重な働きをされてきましたが、中でも4年前に名古屋キャンパスで始まった2006年度新カリキュラムのTOEIC科目の浸透のために活躍をされてきました。英語教員一同のみならず全教員が深い哀悼の思いに包まれております。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

次に、悲しいお知らせの後では、嬉しいお知らせも書きたいと思えます。法学部の北尾泰幸先生が本年6月に大阪大学大学院から言語文化学の博士号を授与されました。北尾先生は4年前に愛知大学の嘱託教員として赴任され、3年前に助教として専任教員になられて今日まで愛知大学の英語教育や運営の面において大きく貢献されてきました。博士号取得はまことに嬉しいことでもあります。おめでとうございます。ちなみに、本号の表紙の写真は、北尾先生が今年の夏休みに学会出席のためハンガリーへ出張されたときに撮られたものです。

さて、第22号の『Goken News』の目次を見ますと安藤聡先生のお名前が見えます。安藤先生は、本年4月に大妻女子大学へ移っていかれたのですが、投稿者が少ないかもしれない、と思って筆者が寄稿をお願いしたので、かなり長い玉稿を寄稿してくださって感謝を申し上げます。ロンドンへの初めての旅を振り返りながら、ガドウィック空港やロンドンの地下鉄やロンドン近郊の風景を名文で綴られており、拝読して感激をしました。どうも有難うございました。(A.Y.)